

○水生生物モニタリング調査結果一覧（宇多川C）

<宇多川C 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点	○	○	○	○	○	○
C-6	○	○	○	○	○	○

<宇多川C 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)
調査地点	37.7764°	140.8877°	R4.12.8	09:30	09:40	7.1	7.8	礫	10YR4/3	無	0.33	>50
C-6	37.7764°	140.8877°	R4.12.8	09:30	09:40	7.1	7.8	礫	10YR4/3	無	0.33	>50

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点	37.7764°	140.8877°	R4.12.8	09:30	7.8	0.6	1.8	12.8	10.7	0.06	0.8	<1	0.5	N.D. (0.0016)	0.0022	0.00076
C-6	37.7764°	140.8877°	R4.12.8	09:30	7.8	0.6	1.8	12.8	10.7	0.06	0.8	<1	0.5	N.D. (0.0016)	0.0022	0.00076

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
調査地点	37.7764°	140.8877°	R4.12.8	09:40	7.7	502	14.5	0.7	1.4	2.680	54.5	36.4	1.6	0.5	2.8	4.2	2.2	4.8	0.58	22	0.21
C-6	37.7764°	140.8877°	R4.12.8	09:40	7.7	502	14.5	0.7	1.4	2.680	54.5	36.4	1.6	0.5	2.8	4.2	2.2	4.8	0.58	22	0.21

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<宇多川C 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)		
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137			
C-6	宇多川本流	37.7764°	140.8877°	R4.12.4	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.022	—	—	—	60	N.D. (7.7)	60	—		
					節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ	440	0.033	幼虫	—	—	—	14	N.D. (3.1)	14	—	
					節足動物	昆虫	カゲラ	カゲラ	<i>Kamimuria uenoi</i>	ウエノカワゲラ	662	0.053	幼虫	—	—	—	—	—	—	—	—
					節足動物	昆虫	カゲラ	カゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ											
					節足動物	昆虫	カゲラ	カゲラ	<i>Paragnetina</i> sp.	クラカケカワゲラ属											
					節足動物	昆虫	カゲラ	カゲラ	<i>Paragnetina suzukii</i>	スズキクラカケカワゲラ											
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	36	0.011	幼虫	—	—	—	5.8	N.D. (3.5)	5.8	—	
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	38	0.018	幼虫	—	—	—	1.7	N.D. (1.9)	1.7	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	1	0.022	未成魚	—	—	—	3.0	N.D. (2.0)	3.0	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	7	0.021	未成魚/成魚	—	—	—	4.7	N.D. (2.1)	4.7	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	ハセ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ											
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。